

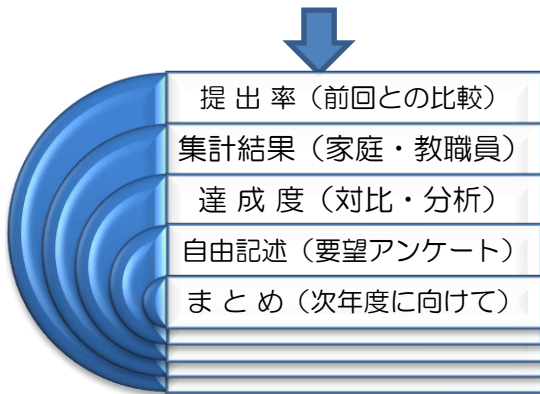
保護者の皆様

大阪府立八尾支援学校  
校長 寺脇 久人

## 23年度 学校教育自己診断結果について【報告】

早春の頃、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。さて、昨年10月に配付しご協力いただきました学校教育自己診断につきまして報告させていただきます。尚、今年度からPTA要望アンケートを自由記述欄に盛り込ませていただきましたが、併せて配付させていただく「要望アンケートの回答」に代えさせていただきますのでご了承ください。

★報告の内容は下の5項目です。



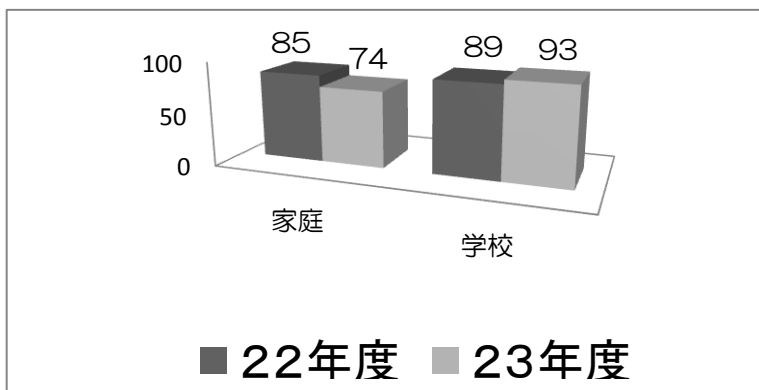
★★★今年度の学校教育計画の達成度を測る基準★★★

\* 回答欄の「とても思う」または「思う」と回答があったものを■肯定的と捉え、逆に「あまり思わない」や「思わない」という回答を△否定的と捉えました。  
\* 全体に占める割合において肯定的は70%以上を基準として達成度を測っています。また、否定的は30%以上を課題として捉えることとしました。  
\* 項目によっては、前回(22年度)の結果と比べて継続した分析を行ったものもあります。

### ①提出率

	提出数	提出率	合計	総合・提出率
家庭	188/254人	74%	294/368人	80%
学校(教職員)	106/114人	93%		

\*前回との比較



【分析】

- 家庭は前回と比較して10%近く下がりました。次年度に向けては、より効果的な回収方法など工夫しながら保護者の皆様にご協力をお願いしたいと思います。
- 教職員については、前回は上回る提出がありました。引き続き自己診断の趣旨・ねらい等を踏まえながら主体的な参画を図りたいと思います。

### ②集計結果【家庭】 \*項目の内容は下の通りです。

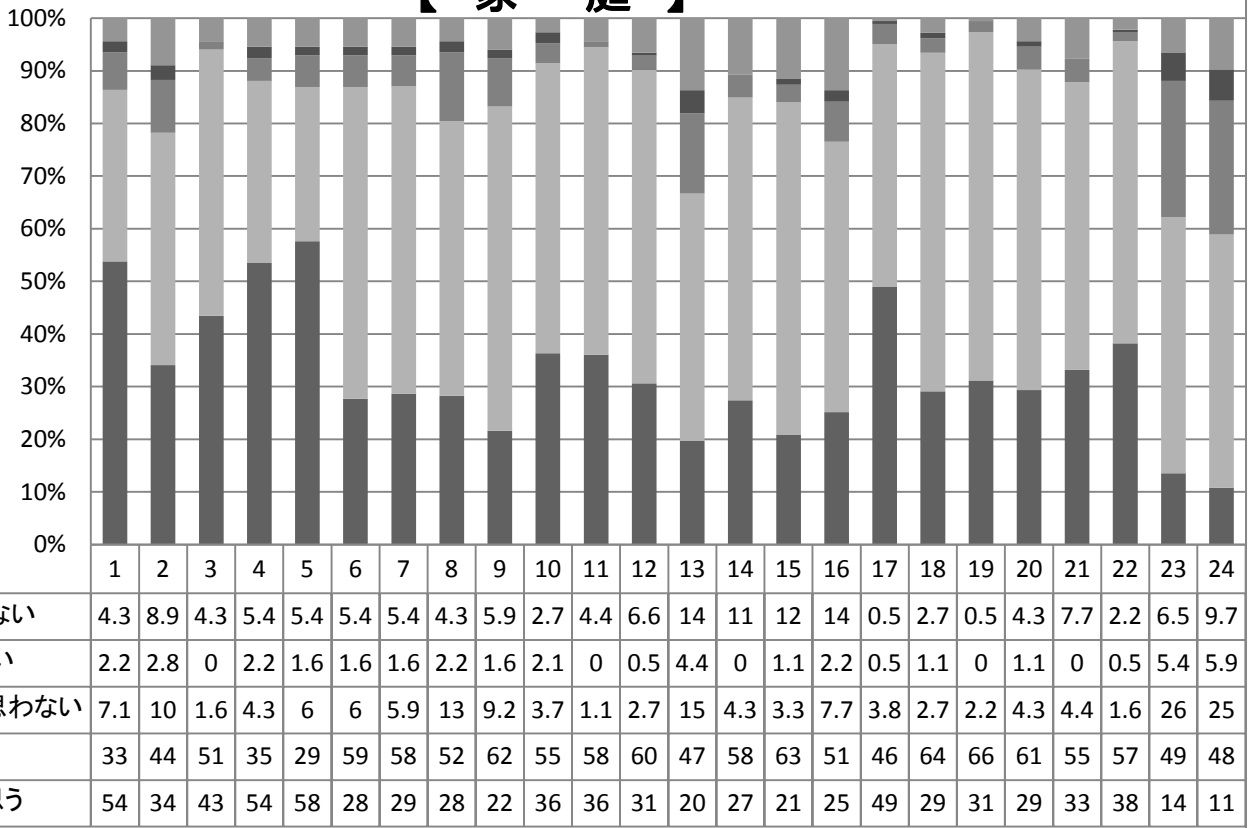
1～5番  
「子どもの様子」

6～16番  
「教育活動」

17～21番  
「家庭連携」

22～24番  
「その他」

# 【 家 庭 】



★総体的には、子どもの様子・教育活動・家庭との連携・その他などの項目について「とても思う・思う」という回答が多く見られました。

- ★特に「とても思う」という回答が高かったのは、
  - 1番「学校へ行くことを楽しみにしている」
  - 3番「友だちや先生と仲良くすごしている」
  - 4番「給食を楽しみにしている」
  - 5番「学校行事を楽しみにしている」
  - 17番「学習や生活の様子など連絡帳や学年通信を通じて知ることができる」が全体の40%~50%以上でした。
- ★また、これら以外にも
  - 10番「学校生活の記録を通じて学習状況や成果を適切に評価している」
  - 11番「検診や測定、食育活動を通じて適切な健康教育を行っている」
  - 22番「受付時のチェック体制など、不審者への対応を適切に行っている」



- ★「あまり思わない・思わない」では、
  - △ 2番「授業を楽しみにしている」
  - △ 8番「子どもの発達段階や課題に合った授業を行っている」
  - △ 13番「他校や施設との交流教育（居住地校交流含め）を積極的に行っている」で10%近く、
  - △ 23番「校内の清掃」
  - △ 24番「施設や設備の整備」で25%近くありました。

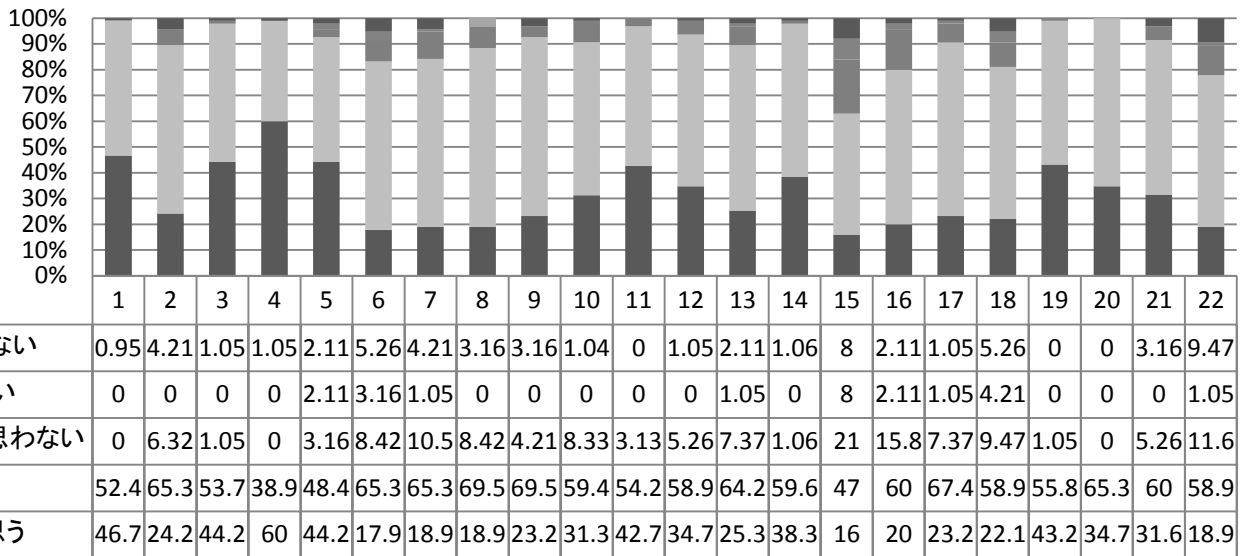
- ★「わからない」では、
  - ・ 13番「交流教育」
  - ・ 14番「人権やプライバシーへの配慮」
  - ・ 15番「あいさつなどを通じた適切な道徳教育」
  - ・ 16番「将来の自立に向けたキャリア教育」
  - ・ 24番「施設・設備の整備」が10%以上ありました。

## ②集計結果【 学校：教職員 】

- ◇ 1~5番「子どもの様子」
- ◇ 6・7番「支援教育」
- ◇ 8~11番「授業評価」
- ◇ 12・13番「健康教育」
- ◇ 14番「安全教育」
- ◇ 15番「交流教育」
- ◇ 16番「人権教育」
- ◇ 17番「道徳教育」
- ◇ 18番「進路指導」
- ◇ 19~22番「家庭連携」

項目の内容です。

# 【教職員】



★全体的には教職員の回答も「とても思う・思う」という回答が多く見られました。特に、「とても思う」では、  
 ■ 1番「学校が楽しい」 ■ 3番「人との関わり」  
 ■ 4番「給食」 ■ 5番「学校行事」は全体の40%～60%近くあり、家庭の評価と重なる点でした。また、  
 ■ 11番「連絡帳や学年通信による情報の提供」  
 ■ 19番「家庭連携における学校のきめ細かな対応」なども家庭と同様に高いものでした。

★「あまり思わない」では  
 △ 7番「個別の指導計画にもとづく適切な支援」  
 △ 16番「子どもの人権への配慮」  
 △ 22番「積極的なPTA活動」が10%、  
 △ 15番「他校施設との交流・居住地校交流」が20%近くありました。



## ③達成度に関する結果・分析

			家庭 %		教職員 %		家庭+教職員	
			肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定
子どもの様子	1	学校へ行くことを楽しみにしている。	86	9	■99	0	■93	4
	2	授業を楽しみにしている。	78	13	89	6	84	10
	3	友だちや先生と仲良くすごしている。	■94	2	■98	1	■96	2
	4	給食を楽しみにしている。	88	6	■99	0	■94	3
	5	学校行事（運動会・遠足・宿泊学習など）を楽しみにしている。	87	8	■93	5	■90	7
教育活動	6	『個別の教育支援計画』にもとづいた適切な支援を行っている。	87	8	83	12	85	10
	7	『個別の指導計画』にもとづいた適切な指導・支援を行っている。	87	8	84	12	86	10
	8	子どもの発達段階や課題に合った授業を行っている。	80	15	88	8	84	12
	9	教科学習や生活指導における教材や教具は工夫・配慮されている。	83	11	■91	8	87	10
	10	『学校生活の記録』を通じて、学習状況や成果を適切に評価している。	■91	6	■93	4	■92	5
	11	検診や測定、食育活動などを通じて、適切な健康教育を行っている。	■95	1	■94	5	■95	3
	12	避難訓練や交通安全教室などを通じて、適切な安全教育を行っている。	■90	3	■98	1	■94	2
	13	他校や施設との交流教育（居住地校交流含む）を積極的に行っている。	67	20	63	29	65	25
	14	子どもの人権やプライバシーは十分に配慮されている。	85	4	80	18	83	11
	15	あいさつや規則を守る指導を通じて、適切な道徳教育を行っている。	84	4	■91	8	88	6
	16	係活動や当番活動を通じて、将来の自立に向けたキャリア教育・・・。	77	10	81	14	79	12
家庭との連携	17	学習や生活の様子など、連絡帳や学年通信を通じて知ることができる。	■95	4	■97	3	■96	4
	18	進路に関する情報（進路だより）や保護者説明会など適切に・・・。	■93	4	76	15	85	10
	19	健康に必要な情報（保健だより・食育だより）を適切に提供している。	■97	2	■100	0	■99	1
	20	子どもについての保護者の悩みや相談に適切に対応してくれる。	■90	5	■92	5	■91	5
	21	PTAはプールやバザーなど、活動を積極的に行っている。	88	4	78	13	83	9
その他	22	受付時のチェック体制など、不審者への対応を適切に行っている。	■96	2				
	23	校内はいつもきれいで清掃が行き届いている。	62	△31	77	21	70	26
	24	施設や設備は子どもにとって安全に整備されている。	59	△31	40	△56	50	△44

#### 【肯定的意見が全体の70%以上のもの】

- 家庭では24項目中、21項目が達成基準に達しました。特に、■印のつけた3番・10番・11番・12番・17番・18番・19番・20番・22番の項目は90%を超える高い評価でした。
- 学校（教職員）は24項目中、23項目が達しました。\*家庭と学校を併せると24項目中、23項目が達しました。
- ◎特に、交流を除く「教育活動」10項目では殆どの項目が達成基準を大きく上回る評価であり、家庭と学校間の共通認識や連携は円滑に図られているものと推察します。



#### 【否定的意見が全体の30%以上のもの】

- 家庭では「校内の清掃（31%）」「施設や設備の整備（31%）」の二つでした。「施設や設備の整備」は学校も（56%）でした。
- 但し、前回と比べると否定率は下がりました。
- 今回、23番「清掃」は、学校の肯定率が前回の34%から大幅（77%）に上がりました。
- ◎健康教育部が中心となって全校的に取り組む職員清掃が定着してきたものと推察します。
- 13番「他校や施設との交流教育（居住地校交流含む）」を積極的に行っている。」は家庭・学校ともに7割に達せず、家庭（67%）教職員（63%）でした。特に、教職員の評価（肯定63%・否定29%・分無8%）の否定率については、検証・検討していきます。

#### ④記述回答【家庭から49件の意見や要望がありました。要約しますと以下の通りです。】

- ★校舎の老朽化、施設・設備の改善（特に、トイレの改善については複数の意見あり）★授業参観アンケートの活用★学校行事（特に、2学期の運動会・学習発表会）の見直し★修学旅行の行き先★障がい理解と視覚的支援の充実★進路に関する情報提供★給食（調理方法）の工夫★教員不足と専門性を高める研修の充実★行事参加における駐車場の確保★通学バスに関するバス停の場所や連絡方法★放課後のクラブ活動や学童システム★自転車通学許可★保護者間交流の機会・・・以上です。
- ◎出された意見・要望等については、個別ニーズの多様化や保護者の想いとして全教職員で確認します。

#### ⑤ま と め【学校協議会の提言等】

I 共通項目における「家庭+学校」の達成度を総合的に見た場合、学校生活に対する期待感、教育活動、家庭連携など24項目のうち全体の90%近くの項目が達成基準に達しており、今年度の学校教育計画に基づく各種取り組み（支援）は、概ね達成していると捉えたいと思います。引き続き、子ども達一人ひとりの自立や社会参加に向けて、保護者・地域・外部専門機関等とさらに連携を図りながら「安全・安心で信頼される学校づくり」をめざして全教職員で取り組みたいと思います。

II 残念ながらその評価が基準に達しなかった「交流教育」と「施設・整備」については、改善に向けた検討や予算的な要望を上げて行きます。★交流教育は、今年度「居住地校交流」の推進として、市教委・受け入れ校・保護者のみなさまのご協力やご支援によって実現してきました。次年度に向けては、この結果を踏まえ、関係者評価（保護者・担任・受け入れ校など）を行いながら繋げて行きたいと思います。

★施設・設備の改善では、毎回多くの意見・要望が出されています。実態としては、限られた予算の中での「施設修繕」を優先しています。主な修繕では、①小学部棟の雨漏り補修（3か所）②体育館・集会室のスピーカー修理 ③教室・廊下の窓ガラス修繕などを行いました。

また、それ以外でも ①プールの床全面張り替え②中庭遊具および藤棚の塗り替え③出入り口用マットの補充 ④保健室トイレのシャワー設置 ⑤搬送用ストレッチャーの補充など、「安全で安心できる教育環境の整備」に努めてきました。今後も、管理職や行政ならびに校内の施設整備委員会等と連携しながら取り組んでいきたいと思ひます。

#### 【学校協議会からの提言】

- ★教職員の提出率の向上は評価できる。
- ★進路に関する情報提供の仕方について（実際に見たり触れたりする機会を持つ）
- ★進路指導に関する教職員のスキルアップや取り組みの共有・社会のスピード化への対応
- ★授業力の向上
- ★キャリア教育に特化した進路指導のあり方（学校でしか身につけることができない事や経験がある。教職員の熱意・向上心への期待）
- ★「学校は変わってきた！良い意味で！」外に向けて取り組む姿勢が伺える。
- ★保護者のニーズを捉えて行くという学校の方向性は大いに評価できる。・・・等がありました。